



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年1月28日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 タカキタ

コード番号 6325 URL <http://www.takakita-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 充生

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 中坊 督 TEL 0595-63-3111

四半期報告書提出予定日 2022年2月4日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,355	13.9	438	97.0	469	89.4	314	95.9
2021年3月期第3四半期	4,702	△5.2	222	△34.5	247	△32.3	160	△31.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	27.28	27.04
2021年3月期第3四半期	13.90	13.79

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	8,837	6,797	76.3
2021年3月期	8,164	6,631	80.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期6,746百万円 2021年3月期6,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	5.00	-	5.00	10.00
2022年3月期	-	5.00	-	-	-
2022年3月期（予想）	-	-	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	4.6	400	0.0	435	△4.5	290	△10.2	25.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	14,000,000株	2021年3月期	14,000,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,506,217株	2021年3月期	2,451,205株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	11,523,289株	2021年3月期3Q	11,540,886株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和され、持ち直しの動きがみられたものの、変異株をはじめ感染症による内外経済への影響や供給面での制約、原材料価格の高騰による影響等、依然として先行きが不透明な状況であります。

このような情勢のもと、農業機械事業におきましては主力製品のシリーズ化や国の畜産クラスター事業^{*}の採択が一定程度進んだことにより、高品質な国産飼料増産と食料自給率の向上に寄与するエサづくり関連作業機の可変径ロールペーラおよび細断型ホールクローブ収穫機等の伸張や、有機肥料散布機ミックスソーワ等の新製品投入効果もあり、国内売上高は増収となりました。また、海外売上高は、感染症の影響により営業活動の縮減が続いたものの、中国向けの部品受注が増加したことや、オンライン展示会の活用効果により増収となりました。以上により、農業機械事業全体の売上高は前年同期比6億99百万円増加し50億59百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

軸受事業におきましては、得意先からの受注の減少により、売上高は前年同期比45百万円減少し2億96百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期比6億53百万円増加し53億55百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

利益面におきましては、人件費の増加や資材高騰の影響を受けましたものの、売上高の増加に加え、原価低減活動・経費削減等の効果により、営業利益は前年同期比2億16百万円増加し4億38百万円（前年同期比97.0%増）、経常利益は前年同期比2億21百万円増加し4億69百万円（前年同期比89.4%増）、そして四半期純利益は前年同期比1億53百万円増加し3億14百万円（前年同期比95.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ6億73百万円増加し、88億37百万円となりました。これは主に電子記録債権が6億52百万円、商品及び製品が1億74百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が4億65百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ5億7百万円増加し、20億40百万円となりました。これは主に電子記録債務が4億69百万円、未払法人税等が39百万円それぞれ増加し、賞与引当金が71百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ1億65百万円増加し、67億97百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億99百万円増加し、自己株式が36百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年4月28日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はありません。

* 畜産クラスター事業…政府による畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	861,659	1,011,901
受取手形及び売掛金	1,100,848	635,137
電子記録債権	954,966	1,607,191
商品及び製品	665,311	839,800
仕掛品	141,932	130,996
原材料及び貯蔵品	290,211	340,433
未収入金	529,537	672,507
その他	34,229	15,982
流動資産合計	4,578,696	5,253,950
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,048,873	1,025,051
機械及び装置（純額）	371,566	311,206
土地	562,140	562,140
その他（純額）	160,014	173,782
有形固定資産合計	2,142,594	2,072,181
無形固定資産	145,438	213,255
投資その他の資産		
投資有価証券	933,264	934,834
その他	365,366	364,159
貸倒引当金	△786	△696
投資その他の資産合計	1,297,844	1,298,298
固定資産合計	3,585,877	3,583,735
資産合計	8,164,574	8,837,685
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	298,209	285,096
電子記録債務	352,963	822,089
短期借入金	70,000	70,000
未払法人税等	36,333	76,248
賞与引当金	106,763	35,348
その他	412,597	465,653
流動負債合計	1,276,867	1,754,435
固定負債		
退職給付引当金	236,977	199,408
役員退職慰労引当金	4,700	4,100
その他	14,452	82,558
固定負債合計	256,130	286,066
負債合計	1,532,998	2,040,502

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,350,000	1,350,000
資本剰余金	830,032	832,196
利益剰余金	4,609,984	4,809,105
自己株式	△612,725	△649,492
株主資本合計	6,177,291	6,341,809
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	409,173	404,856
繰延ヘッジ損益	129	△171
評価・換算差額等合計	409,303	404,685
新株予約権	44,981	50,689
純資産合計	6,631,575	6,797,183
負債純資産合計	8,164,574	8,837,685

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	4,702,031	5,355,361
売上原価	3,292,149	3,644,569
売上総利益	1,409,882	1,710,792
販売費及び一般管理費	1,187,096	1,271,813
営業利益	222,786	438,978
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	10,097	11,454
不動産賃貸料	17,439	17,572
その他	4,283	7,525
営業外収益合計	31,826	36,555
営業外費用		
支払利息	181	186
不動産賃貸原価	3,751	3,681
売上割引	2,694	—
リース解約損	—	2,000
その他	175	397
営業外費用合計	6,802	6,266
経常利益	247,810	469,268
特別利益		
固定資産売却益	8	542
特別利益合計	8	542
特別損失		
固定資産廃棄損	14	—
投資有価証券評価損	854	—
その他	0	—
特別損失合計	869	—
税引前四半期純利益	246,949	469,810
法人税、住民税及び事業税	36,515	111,299
法人税等調整額	49,989	44,152
法人税等合計	86,505	155,451
四半期純利益	160,444	314,359

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であり、利益剰余金の当期首残高への影響も軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	農業機械事業	軸受事業			
売上高	4,359,985	342,046	4,702,031	—	4,702,031
セグメント利益 又は損失(△)	237,301	△24,698	212,603	10,182	222,786

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、鉄屑等のスクラップ売却代であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	農業機械事業	軸受事業			
売上高	5,059,249	296,111	5,355,361	—	5,355,361
セグメント利益 又は損失(△)	433,436	△28,107	405,328	33,650	438,978

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、鉄屑等のスクラップ売却代であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期会計期間から、会計システム変更を契機に当社資産について報告セグメント別に整理を行ったため、セグメント資産について著しい変動はありませんが、参考情報としてセグメント資産残高を記載しております。

当第3四半期会計期間(2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額(注)	四半期貸借対照 表計上額
	農業機械事業	軸受事業			
セグメント資産	6,115,787	352,503	6,468,291	2,369,394	8,837,685

(注) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産等であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資産、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門にかかる資産等であります。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する仮定について重要な変更はありません。